

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和元年度 第4回 高松市行財政改革推進委員会
開催日時	令和元年8月23日(金) 9時30分～11時30分
開催場所	高松市役所 11階 114会議室
議 題	令和元年度高松市外部評価(第2日目) (1) たかまつマイロード事業 (2) ふるさと高松応援寄附促進事業
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	石川委員、肥塚委員、後藤委員、近藤委員、関委員、竹内委員、角田委員、西村委員
傍聴者	3人 (定員 20人)
担当課及び連絡先	人事課行政改革推進室 839-2160

審議経過及び審議結果

令和元年度高松市外部評価(第2日目)

(1) たかまつマイロード事業

判定結果 継続

評価の意図 意義のある事業で、継続していくべきである。認定団体を増やしていくために、教育機関や企業に対しての働きかけを推進するほか、道路愛護に関するPRを実施してはどうか。

その他の意見等

- ・小・中学校は、地区の清掃活動を積極的にしているところが多いので、活動している学校を認定してはどうか。
- ・企業に、認定ステッカーを配付すれば、イメージアップにつながり、企業参加が促進されるのではないか。
- ・企業の参加が少ないので、商工会議所や経済同友会などを通じてPRしてはどうか。
- ・郊外では、認定されていない団体や個人の方々でも自宅周辺の市道を清掃している方々はいる。認定団体を増やしていくだけでなく、市道を大切にしようと広く啓蒙していくことも大切。
- ・学生の頃から、自発的に地区の清掃活動に携わっていくことは、教育的側面からも意義があるので、推進していくほうがよい。
- ・市道と県道や国道の区別なく清掃している方もいるため、そういう方々も認定できるようにしてはどうか。

(2) ふるさと高松応援寄附促進事業

判定結果 継続

評価の意図 継続して本市を応援してもらえるよう、寄附者の分析、寄附後の事業成果の報告、お礼品やPR方法の工夫が必要と思われる。他都市の状況分析や近隣自治体との情報共有を図り、本市に最適な実施方法により、事業を推進してほしい。

その他の意見等

- 本市の寄附者の分析や、寄附金額の多い自治体の工夫点などを研究してはどうか。
- お礼品の魅力以外に、広報力が重要。発信力のある有名人を起用するなど、有効な方法を検討すべき。
- 年度ごとに発行しているリーフレットに、前年度の寄附に対するお礼のほか、寄附の使途や成果を記載してはどうか。
- 香川には銘菓が多い割に、お礼品には菓子類が少ないので、追加を検討してはどうか。
- 体験型のお礼品の場合は、他のよく似た体験型のお礼品やイベント情報を提供するようにしてはどうか。